

S. E. N. S（特別支援教育士）の会 北海道支部会 岩手支部会 合同開催  
2024年度 夏期研修会 開催要項

1、趣旨

実際の事例の検討を通じて、発達障害のアセスメントの解釈から指導に至る過程を経験し、その実践的な力を高める。事例に挙げられた子どもの学習や行動のつまずきの原因と子どもの発達特性を分析し、教育的支援が必要な領域とその具体的内容について検討する。それをもとに、個別の指導計画を作成していき、それを活用した授業作りや配慮の検討を行う。グループごとにディスカッションを行いながら、実践的に学んでいく。また、北海道・岩手における S. E. N. S 有資格者など特別支援教育の専門家の資質向上を目指すとともに、教育関係者や療育関係者との連携を深める。

2、主催 S. E. N. S（特別支援教育士）の会北海道支部会 岩手支部会

3、後援予定 札幌市教育委員会 小樽市教育委員会 北海道教育委員会  
岩手県教育委員会 盛岡市教育委員会 岩手大学教育学部

4、日時 2024年7月31日（水）～2日（金） 全日9：15～16：30  
（7月30日（火）は、有資格者対象 WISC-V 講習会【事前研修会】）

5、会場

札幌会場 札幌市立信濃中学校 <原則、お車では来場できません。>  
道北会場 鷹栖地区住民センター  
後志会場 京極町立京極小学校  
紋別会場 西紋こども発達支援センター  
岩手会場 岩手大学教育学部  
<各会場をオンラインで接続し、講義や討議を行います。>

6、スタッフ（状況により変更もあり）

**札幌会場**

田近 健太（札幌市立信濃中学校 S. E. N. S-SV） 山田 明夏（札幌市立北辰中学校 S. E. N. S-SV）  
村井 めぐみ（札幌市立幌北小学校 S. E. N. S-SV） 蒔苗 詩歌（北星学園大学 S. E. N. S）

**道北会場**

米内山 康嵩（千歳市教育委員会 S. E. N. S-SV） 山川 昌子（鷹栖町立北野小学校、S. E. N. S）

**後志会場**

桂野 文良（小樽市立稲穂小学校 S. E. N. S-SV） 横田 恭平（京極町立京極小学校 S. E. N. S）  
田畑 牧子（小樽市立朝里小学校 S. E. N. S）

**紋別会場**

山下 公司（北海道教育大学札幌校 S. E. N. S-SV） 吉野 さやか（京極町立京極中学校 S. E. N. S）

**岩手会場**

滝吉 美知香（岩手大学 S. E. N. S-SV） 佐々木 全（岩手大学 S. E. N. S-SV）  
鈴木 恵太（岩手大学 S. E. N. S-SV） 岩井澤 通代（盛岡市立羽場小学校 S. E. N. S）

7、内容・日程

【事前研修会】

7月30日(火) 9:15 ~ 16:30

※有資格者対象 WISC-V 講習会

【夏期研修会】

7月31日(水)

9:00 11:30 13:00 13:30 14:15 16:00 16:30

受付	オリエンテーション	アセスメントについて	事例提供	グループワーク① アセスメント I・II	昼休憩	アセスメント I・II まとめ	講義 「Wechsler 式知能検査について」	グループワーク② WISC-V 心理検査アセスメント (分析・解釈)	ふりかえり
----	-----------	------------	------	----------------------------	-----	-----------------------	----------------------------	--	-------

- 9:00~9:15 受付
- 9:15~9:25 オリエンテーション<日程説明・講師紹介グループ説明など>
- 9:30~9:50 説明<アセスメント>
- 9:50~10:00 事例提供
- 10:00~11:00 グループワーク①<アセスメント I・II>
- 11:00~11:30 <アセスメント I・II> 質問タイム・まとめ
- 13:00~13:30 アセスメント I・II まとめ
- 13:30~14:15 講義「Wechsler 式知能検査について」
- 14:15~16:00 グループワーク② <WISC-V 心理検査アセスメント (分析・解釈)>
- 16:00~16:30 ふりかえり<各グループからコメント発表>

8月1日(木)

9:15 9:30 11:45 12:00 13:30 14:15 16:00 16:30

受付	指導仮説	グループワーク③ (指導仮説)	指導仮説 まとめ	昼休憩	個別の指導計画作成と活用&合理的配慮&教材づくり	グループワーク④ (個別の指導計画作成と活用&合理的配慮&教材づくり)	ふりかえり
----	------	--------------------	-------------	-----	--------------------------	--	-------

- 9:15~9:30 説明<指導仮説>
- 9:30~11:45 グループワーク③<指導仮説>  
アセスメント I・II と WISC 解釈を付き合わせ、指導仮説を立てる
- 11:45~12:00 <指導仮説>まとめ
- 13:30~14:15 説明 <個別の指導計画作成と活用&合理的配慮&教材づくり>
- 14:15~16:00 グループワーク④ <個別の指導計画作成と活用&合理的配慮&教材づくり>  
グループ毎に観点を決め、指導の具体的手立てや合理的配慮について検討
- 16:00~16:30 ふりかえり<各グループからコメント発表>

8月2日(金)

9:15 13:45 15:00 15:45 16:30

受付	グループワーク④ (個別の指導計画作成と活用&合理的配慮&教材づくり) 【昼休憩含む】	発表・討議 個別の指導計画 (&教材)	まとめ	表彰式 事務連絡
----	---	------------------------	-----	-------------

- 9:15~13:45 グループワーク④ <個別の指導計画作成と活用&合理的配慮&教材づくり>  
【昼休憩含む】
- 13:45~15:00 発表・討議
- 15:00~15:45 まとめ
- 15:45~16:30 表彰式・事務連絡

8、参加費

6,000 円 (当日受付でお支払いください。)

## 9、参加者について

S. E. N. S の会北海道支部会員・岩手支部会員及び特別支援教育に関心の高い方

札幌会場 24名 道北会場 12名 後志会場 12名 紋別会場 12名 岩手会場 12名

## 10、お問い合わせと参加申し込み

下記の専用申し込みフォームまでお願いします。スマホからの登録も可能です。

<https://forms.gle/9VJqQmFrQBB9LF9r7>



お名前・ご所属とお立場・連絡先アドレス・WISC-IVまたはV経験回数

A (10回以上) B (5回以上) C (ほとんどなし)

参加会場 (札幌会場・道北会場・後志会場・紋別会場・岩手会場)

事前研修会 (7月30日) 参加希望有無

※有資格者のみ (有している資格【別紙を参照】を記載下さい)

懇親会参加希望 (会場ごとに予定しております。申込時点の予定で構いません)

その他配慮事項については、「お問い合わせ欄」に入力してください。

申し込みフォームでのご登録が難しい場合は、同じ内容を以下の連絡先までお送りください。

S. E. N. S の会北海道支部 事務局 米内山 康嵩宛

E-mail hokkaidosens@gmail.com FAX 0123-27-3743

☆7月30日(火)に1日日程で、有資格者限定で、WISC-Vの実施方法等について事前研修会を開催します。場所など詳しいことについては、参加希望者に直接お知らせいたします。

※参加の可否について、最終案内とともに後日連絡いたします。(締め切りを7月5日(金)とします。)

## 11、その他

会場および講師人数の関係で、参加人数が限られています。申し込みについては、先着順とさせていただきます。なお、申し込み人数が定員を超えた場合につきましては、支部会会員を優先とさせていただきますことをご承知おきください。

S. E. N. S の会北海道支部会会員・岩手支部会会員の方におかれましては、全日参加されますと更新ポイント2P(特別支援教育士資格更新規定 第2条 IX-1より)が取得できます。なお、事前研修のみの参加では、ポイントは取得できませんのでご了承ください。

## ～S. E. N. S とは～

「特別支援教育士」“Special Educational Needs Specialist”略称：“S. E. N. S” (センス) は、特別支援教育士資格認定協会が認定する LD・ADHD 等のアセスメントと指導の専門資格です。

特別支援教育士 [S. E. N. S] の資格を取得するには、①一般社団法人日本 LD 学会の正会員であること②LD・ADHD 等の関連職種に所定の時間以上従事していること等が条件で、その上に、③協会が主催する養成セミナーを受講して、規定のポイントを修得することが求められます。現カリキュラムでは、概論、アセスメント、指導、特別支援教育士の役割、実習の5つの領域から合計36ポイントを修得することになっています。

さらに、協会では、特別支援教育士 [S. E. N. S] の資格を取得して2年以上経過した人の中から、LD・ADHD 等の研究・指導実践に優れている人、各地域で LD・ADHD 等の教育・支援活動の中心となっている人に、「特別支援教育士スーパーバイザー [S. E. N. S-SV]」の資格を授与しています。

協会では、S. E. N. S-SV を、専門家チームの一員として、LD・ADHD 等のアセスメントや個別の指導計画の立案・実施に関して周囲の人たちに指導助言でき、その地域の特別支援教育のリーダーとして十分な実践歴を持つ人材、つまり、特別支援教育の「真のプロフェッショナル」として位置づけています。

## 【別紙】昨年度までの夏期研修会との変更点について

### 1 事前研修会について

支部会事務局としましては、昨年9月に出された S.E.N.S 協会本部からの通知をもとに研修会のあり方を再考し、WISC-V の販売をしている日本文化科学社で定めている検査使用者レベルに基づいた対応をとっていくこととしました。そのため、検査の具体的な内容について扱う事前研修会については、参加対象者を有資格者のみとさせていただきますことになりましたので、ご理解いただきますようお願い致します。

なお、ここで言う有資格者は下の参考資料のレベル C に該当する方になります。 事前申し込みの際に有している資格をご記入いただきますようお願い致します。

【参考：出版社が求める使用者レベル

検査ごとに定められた使用者レベルを満たす専門家のみ利用可】

レベル A	保健医療・福祉・教育等の専門機関において、心理検査の実施に携わる業務に従事する方。	VPI 職業興味検査第 3 版、SDS キャリア自己診断テスト
レベル B	レベル A の基準を満たし、かつ大学院修士課程で心理検査に関する実践実習を履修した方、または心理検査の実施方法や倫理的利用について同等の教育・研修を受けている方。	LDI-R、Vineland-II 適応行動尺度、S-M 社会生活能力検査第 3 版、SP 感覚プロファイル、ASA 旭出式社会適応スキル検査、SRS-2 対人応答性尺度
レベル C	レベル B の基準を満たし、かつ心理学、教育学または関連する分野の博士号、心理検査に係る資格(公認心理師、臨床心理士、学校心理士、臨床発達心理士、特別支援教育士)、医療関連国家資格(医師、言語聴覚士等)のいずれかを有する方、あるいは国家公務員心理職(家庭裁判所調査官等)、地方公務員心理職(児童心理司等)の職で心理検査の実施に携わる方。	WISC- IV 、 WISC- V 、 WPPSI- III 、 WAIS-IV、 DN-CAS

### 2 研修会内容について

今年度から、医療機関等からの提出される検査結果報告書のようなものから、解釈を進めていく形式での研修を予定しています(そのため、WISC-V の下位検査の細かな情報などには触れないこととなります。ただし、有資格者は、WISC-V の詳細な分析から行います)。

保護者等から検査結果報告書を受け取った際に、それをどのように理解・解釈し、実際の指導にどう生かすかが今後ますます重要になってくると思います。本研修会がその一助になれば幸いです。